

平成24年度一般用医薬品販売制度定着状況調査結果について（概要）

平成25年7月
医薬食品局総務課

1. 調査の目的

平成21年6月に施行された一般用医薬品の販売制度について、一般消費者の立場から制度の定着状況等を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図る。

2. 調査の内容*

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

調査員が一般消費者の立場で、全国6,538件の薬局・店舗販売業者（以下「薬局等」という。）の店舗を訪問し、一般用医薬品の販売制度に係る事項を中心に、店舗での販売状況等について調査（調査期間は平成25年1月～平成25年2月）

（主な調査項目）

- ① 医薬品のリスク分類別の陳列状況、従事者の名札着用状況
- ② 店舗での情報提供、相談対応の状況 等

(2) 郵便等販売に関する調査：

ウェブ上で一般用医薬品を取り扱っている販売サイト201件を対象として、一般用医薬品に関するウェブ上の情報記載、郵便等販売の状況等を調査

(3) 配置販売に関する調査：

調査員が調査期間中に配置販売業者の訪問を受けた事案50件について、陳列状況、相談対応の状況等を調査

※委託調査により実施（委託先：ソフトブレン・フィールド株式会社）

3. 主な調査結果（括弧内の数字は昨年度の結果）

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

① 医薬品の陳列状況について

- ・ 第1類医薬品は、購入者が直接手を触れることができない陳列となっていたか：
なっていた 89.1% (84.8%) / なっていなかった 10.9% (15.2%)
- ・ 第2類・第3類医薬品がリスク分類別に陳列されていたか：
リスク分類別に区分されていた 65.3% (53.5%) / 曖昧・不明瞭 33.4% (44.8%) / 確認できなかった 1.3% (1.7%)

② 店舗従事者は名札をつけていたか：

- 全員つけていた 88.7% (84.8%) / 全員がつけていたが裏返っている人がいた 1.7% (1.4%) / 名札をつけている人とつけていない人がいた 4.4% (5.2%) / 全員つけていなかった 5.2% (8.6%)

③第1類医薬品について、購入しようとした際に説明はあったか：

文書を用いて詳細な説明があった 60.7% (55.2%) / 文書を渡されたが詳細な説明がなかった 2.0% (1.3%) / 口頭のみでの説明だった 32.4% (38.6%) / 説明自体なかった 4.9% (4.9%)

④③の第1類医薬品に関する説明をした者：

薬剤師 88.4% (84.5%) / 登録販売者 5.0% (6.0%) / 一般従事者 1.6% (2.1%) / 名札未着用等のため不明 4.9% (7.4%)

⑤第1類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：

適切な回答があった 95.3% (95.1%) / 適切な回答がなかった 4.7% (4.9%)

⑥第2類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：

適切な回答があった 93.4% (92.6%) / 適切な回答がなかった 6.6% (7.4%)

(2) 郵便等販売に関する調査

①ウェブサイトの記載について

・薬局等の管理者の氏名：

記載あり 93.5% (88.3%) / 記載なし 6.5% (11.7%)

・勤務する薬剤師・登録販売者の別・氏名：

記載あり 79.6% (72.8%) / 記載なし 20.4% (27.2%)

・リスク分類に関する定義・解説：

記載あり 45.3% (27.2%) / 記載なし 54.7% (72.8%)

②メールでの問い合わせへの対応状況：

返信あり 58.7% (65.7%) / 返信なし 41.3% (34.3%)

(3) 配置販売に関する調査

①医薬品の陳列状況：

リスク分類別に陳列 86.0% (82.4%) / リスク分類別に陳列なし 14.0% (17.6%)

②相談に対する回答：

適切な説明があった 98.0% (98.0%) / 適切な説明がなかった 2.0% (2.0%)

平成24年度一般用医薬品販売制度定着状況調査（登録販売者の研修実態の調査）
結果について（概要）

平成25年7月
医薬食品局総務課

1. 調査の目的

経過措置により平成20年4月から施行された登録販売者制度による登録販売者について、その研修の実施状況等の実態を把握すること。

2. 調査の内容*

全国の薬局、店舗販売業者、配置販売業者（平成21年6月以降、新規に配置販売業の許可を受けた者を対象とした。）7,500件を抽出し、登録販売者に対する研修の実施状況等について、アンケート調査を実施。（調査期間は平成25年1月～平成25年2月）

（主な調査項目）

- （1）内部研修について
- （2）外部研修について 等

※委託調査により実施（委託先：ソフトブレン・フィールド株式会社）

3. 主な調査結果（括弧内の数字は2年前の結果）

（1）内部研修について

①実施の有無：

実施している 42.0%（64.4%）／実施していない 58.0%（35.6%）

②受講状況：（実施している者を対象）

全員受講 70.0%／一部受講 30.0%

③研修時間数：（実施している者を対象）

1～4時間 16.4%／5～8時間 26.1%／9～11時間 7.6%／12時間以上 49.8%

④修了認定：（実施している者を対象）

修了証あり 15.0%（9.8%）／修了証なし 85.0%（90.0%）／回答なし 0.0%（0.2%）

⑤研修内容：（実施している者を対象・実施ありの割合を記載）

1（医薬品に共通する特性と基本的な知識）	71.9%（86.1%）
2（人体の働きと医薬品）	59.3%（72.3%）
3（主な一般用医薬品とその作用）	71.9%（90.7%）
4（薬事に関する法規と制度）	52.5%（69.2%）
5（一般用医薬品の適正使用と安全対策）	63.5%（79.9%）

- 6 (リスク区分等の変更があった医薬品) 53.5% (70.6%)
 7 (その他登録販売者として求められる理念、倫理、関連法規等) 46.5% (68.3%)

(2) 外部研修について

①実施の有無：

実施している 69.2% (37.4%) / 実施していない 30.8% (62.6%)

②種別：(実施している者を対象)

集合研修 97.5% (81.0%) / 個別研修 2.1% (1.8%) / 通信研修 32.6% (17.2%)

③研修時間数：(実施している者を対象)

1～4時間 7.2% / 5～8時間 22.7% / 9～11時間 8.9% / 12時間以上 61.2%

④修了認定：(実施している者を対象)

修了証あり 87.5% (61.8%) / 修了証なし 12.5% (38.2%)

⑤研修内容：(実施している者を対象・実施ありの割合を記載)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1 (医薬品に共通する特性と基本的な知識) | 57.7% (85.6%) |
| 2 (人体の働きと医薬品) | 52.1% (79.0%) |
| 3 (主な一般用医薬品とその作用) | 57.9% (90.6%) |
| 4 (薬事に関する法規と制度) | 53.3% (79.6%) |
| 5 (一般用医薬品の適正使用と安全対策) | 57.0% (87.8%) |
| 6 (リスク区分等の変更があった医薬品) | 49.3% (69.7%) |
| 7 (その他登録販売者として求められる理念、倫理、関連法規等) | 50.7% (75.8%) |

平成24年度一般用医薬品販売制度定着状況調査（郵便等販売に係る経過措置利用状況調査）
結果について（概要）

平成25年7月
医薬食品局総務課

1. 調査の目的

平成25年5月末で離島居住者・継続使用者に対する第2類医薬品等の郵便等販売に関する経過措置が終了予定であることに伴い、6月以降のこれらの方々への郵便等販売の取扱いについて検討を行うに当たり、経過措置の利用状況を把握することを目的とする。

2. 調査の内容*

郵便等販売を行うとして都道府県等へ届出をしている、全国1,540件の薬局・店舗販売業者（うち、薬局947件、薬局以外の店舗販売業等593件。以下「薬局等」という。）に対して、各自治体を通じて、経過措置による販売状況等について、アンケート調査を実施した。（調査期間は平成25年1月10日～平成25年2月5日）

（主な調査項目）

- （1）郵便等販売で最も使用頻度が高いツール（電話、FAX、ネット、はがき等）
- （2）経過措置として郵便等販売を行った主な第2類医薬品等の種類
- （3）平成24年10月～11月の郵便等販売における第2類医薬品等の送付先件数 等

※委託調査により実施（委託先：ソフトブレン・フィールド株式会社）

3. 主な調査結果

（1）郵便等販売で最も使用頻度が高いツール（電話、FAX、ネット、はがき等）

- ① 郵便等販売を行うにあたり、最も多用するツールは何か：
電話 39% / FAX 1% / インターネット 11% / はがき等 2% /
その他 2% / 実績無し 45%

（2）経過措置として郵便等販売を行った主な第2類医薬品等の種類

（店舗ごとに上位3種類選択）

① 第2類医薬品：

- 1位 漢方製剤(337店舗)
- 2位 滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤を含む。)(221店舗)
- 3位 消化器官用薬(浣腸薬を含む。)(108店舗)

② 薬局製造販売医薬品：

- 1位 漢方製剤(115店舗)
- 2位 滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤を含む。)(29店舗)
- 3位 精神神経用薬(かぜ薬(内用)、解熱鎮痛薬、乗り物酔い防止薬等を含む。)(28店舗)

(3) 平成24年10月～11月の郵便等販売における第2類医薬品等の送付先件数

① 第2類医薬品：

・送付先総数：のべ13,831件

うち、離島居住者あて 2% / 継続使用者（同一県内）あて 35% /
継続使用者（県外）あて 62%

・1店舗当たりの送付先件数：中央値 7件、平均値 34件
（対象：1個以上郵便等販売をしたと回答した403業者）

② 薬局製造販売医薬品：

・送付先総数：のべ3,827件

うち、離島居住者あて 4% / 継続使用者（同一県内）あて 53% /
継続使用者（県外）あて 37%

・1店舗当たりの送付先件数：中央値 7件、平均値 47件
（対象：1個以上郵便等販売をしたと回答した82業者）